

事例12： 匿名D病院（東海地域）の取り組み

「廃用症候群の予防、ケアによる自立支援により患者の尊厳が保持できた」

概要

（状況） 当院診療圏の有料老人ホームでクラスターが発生。COVID-19陽性入院患者（多くは認知症を合併）に対して、看護師のマンパワー不足があり、やむなく体幹抑制がされる。ADL面でのケアは十分支援できないために、リハでの介入要請あり。

（支援） COVID-19病棟の患者個室にて理学療法士・作業療法士による廃用予防目的での介入及びADL支援を実施。

（結果） 廃用性生活機能の低下の予防（ADL維持）及び排泄ケアによる尊厳の保持。

コロナ対応病棟での支援

【廃用予防事例】

- ・ 感染患者へのリハビリテーションの提供：あり（呼吸器内科だけでなく他科医師もCOVID-19患者を担当し直接にリハ依頼あり）
- ・ 活動・休息援助（離床促進、椅子座位、基本動作練習）
- ・ 苦痛の緩和・安楽確保（ポジショニング）
- ・ 排泄援助（ADL支援、排泄誘導、排泄ケア）
- ・ 清潔・衣生活援助（必要に応じておむつ交換） ・ 食事援助（飲水介助）

【重症例】

- ・ 重症患者（呼吸器管理患者を含め）への呼吸理学療法として腹臥位療法の際の体位交換を看護師とともに実施（呼吸理学療法）

その他の病棟での支援

- ・ 特設外来（プレハブ設置）での唾液によるPCR検査の検体採取支援

病院プロフィール

- 病院の機能説明：
地域機関病院として救急医療、急性期機能病院、地域医療支援病院、がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、感染症指定医療機関、周産期母子医療センター、高精度放射線治療棟あり
- 総病床数：
500床規模
- コロナ患者対応：
第3波の急増の対応し更に増床して全49床で対応
- 感染対策の教育：
院内感染対策講演会、PPE（个人防护服）の着脱手順演習